祝 竣工

亀嵩小学校校舎・屋内運動場
馬木小学校屋内運動場

平成二十年度から事業着手され建築が進められてきた、亀嵩小学校校舎・屋内運動場と馬木小学校屋内運動場が竣工しました。

両施設とも、基礎となる構造材に木材集成材を使用し、地元産木材も可能な限り使用した県下でも類を見ない大規模木造建築物です。

二月十九日には、両施設において、木の香りと木が醸し出す温かい雰囲気の中、児童、保護者、関係者及び地域住民が一体となって竣工を祝いました。

『自慢したいところがたくさんある校舎です』
亀嵩小学校竣工式

亀嵩小学校は、体育館を平成二十年度、校舎を二十一年度に改築着工しました。木造二階建てで、延べ床面積は約2585平方メートル、総事業費は約十二億円。外壁や柱に地元産木材を使用したほか、安価な深夜電力を利用する蓄熱式暖房設備を設置するなど、環境に配慮した校舎です。

▲児童代表のあいさつ

屋内運動場で行われた竣工式には、児童、保護者を始め関係者約百五十人が出席しました。

式では、井上町長から施行業者と土地提供者に感謝状が贈呈されたほか、地元有志から学校に対し、遊具三基など八点の品が寄贈されました。

また、児童を代表して、六年生の長谷川彩さんと藤原夏実さんが「この校舎は、自慢したいところがたくさんある校舎です。これからも友達を大切にして一人ひとりが希望に向かって努力していきたいです」と決意を述べました。

▲合唱で竣工をお祝い

式の後には、建築の様子を紹介するスライドを流しながら、児童一人ひとりが、新校舎の自慢や今後の抱負を述べたり、歌をうたって新しい学び舎の完成を祝いました。

▶新しい教室に満面の笑顔

◀木の香りと日の光に包まれた廊下と階段

『新しい体育館でいろいろな活動をしたいです』
馬木小学校屋内運動場 竣工を祝う会

馬木小学校屋内運動場は、平成二十一年度から事業に着手しました。延べ床面積は492平方メートル、亀嵩小学校と同様に、地元産木材が多く利用されています。

祝う会は、教育振興会やPTAで組織する実行委員会が主催し、児童、保護者、地元住民のほか、隣接する馬木幼児園の園児など約二百三十人が出席しました。

始めに、松原輝和実行委員長から「この改築を機に、屋内運動場が地域に開かれた施設になってほしい」とあいさつがありました。

▶代表であいさつする青木さん

また、児童代表の青木柊真さん(六年生)が「いろいろな楽しい活動ができるのも、新しい体育館を建ててくれたみなさんのおかげです。この体育館に負けないように、勉強と運動を頑張りたいです」とお礼を述べました。

▲多くの来場者で祝福

祝う会後半では、馬木幼児園の十一名の園児によるどじょうすくいや、児童と家族による安来節が披露されたほか、八十二人の全校児童による歌で完成を祝いました。

児童や保護者だけでなく地域の人たちに包まれた温かい雰囲気での祝いの会となりました。

▶元気な歌でお祝いしました

馬木小学校 屋内運動場

総事業費		195,615千円
延べ床面積		492.00㎡
施設内容	アリーナ	387.00㎡
	ステージ	34.00㎡
	器具庫(3室)	33.23㎡
	トイレ	19.88㎡
	その他	30.54㎡

女子小学生サッカーの全国大会 Jヴィレッジなでしこカップ
藤原 恵佳さん(三成小4年生)が出場!!

2月11日から3日間、福島県楢葉町Jヴィレッジで開催された、女子小学生(U-12)サッカーの全国大会「第7回Jヴィレッジなでしこカップ」(32チーム出場)に、三成小学校4年生の藤原恵佳さんが出場しました。

藤原さんは、松江市の女子サッカーチーム・LFCファイヤーズに所属し、中国地区代表として出場した今大会では、得意のドリブルと持ち味の正確なパスまわしを活かして、フォワードとミッドフィルダーの両方で活躍しました。

サッカーをしていた3歳上のお兄さんの影響で1年生の時からサッカーを始め、仁多FCスポーツ少年団で練習する一方で、県外遠征や松江市のチームでの練習にも毎月参加しています。

今大会の経験を活かして、一層の成長と活躍が期待されます。

▲全国の舞台で懸命にプレーする藤原さん